北九州市立足原小学校　学校通信　第３号

あ　し　は　ら

令和５年４月２８日（金）発行
校長　辻　井　美　恵
北九州市小倉北区足原二丁目８番１号
TEL:（０９３）９２１－３２０６

＜学校教育目標＞　豊かな心と健やかな体を育む教育の充実　確かな学力の向上を図る教育
＜目指す子ども像＞　いきいき　にこにこ　もりもり
【自分から学ぶ子ども‥いきいき】【思いやりのある子ども‥にこにこ】【たくましい子ども‥もりもり】

大型連休(ゴールデンウィーク)の過ごし方について

本年度は明日の「昭和の日」は土曜日にあたりますが、５月３日から５日間の大型連休です。楽しい連休ですが、長期休業期間中は、生徒指導上の問題行動や事故等の発生が懸念されます。ついては、下記の点を踏まえ、長期休業期間中と同様に安全で楽しい休暇になるようにご家庭でもお話をお願いします。（教育委員会通知文参考）

１　携帯電話等のトラブルの未然防止と対応
(1)　携帯電話・スマートフォン等の使用については、有害サイトや無料通話アプリを含むＳＮＳ等の危険性（高額課金、画像や動画の流出・拡散等）について再度お話をしていただくとともに、情報モラルやマナー（遅い時間帯での通話やＳＮＳなど）についての家庭での指導もお願いいたします。
(2)　万が一、ご家庭で困ったことがありましたら下記の相談窓口も開設しています。
⇒「24 時間ＳＯＳダイヤル（0120-0-78310）」
２　安全な生活についての指導
(1)　不審者に遭遇した際には、逃げる・大声を出す・防犯ブザーをならすなどの対処をするとともに、すぐに大人や警察に通報するよう伝えてください。
(2)　大型連休中については、河川水難事故の多発が懸念されるため、水難事故の危険に対するお話もしてください（一人では海や川には絶対に行かない等）。
(3)　自転車の安全な利用について、反射材用品などの着用、前照灯の徹底、点検等についてお話しいただくとともに、歩行者優先、ヘルメット着用、二人乗り及び並進の禁止、傘差し、スマートフォン・イヤホン使用等の危険性、についても気をつけさせてください。
(4)　お子様が犯罪等の被害や交通事故等に遭わないよう危険回避能力をご家庭でも育てていただきたいと思います。
(5)　習い事（主に社会体育スポーツ）については、指導者の適切な指導の下に、保護者の方の見守りをお願いするとともに事故の未然防止をお願いいたします。
(6)　長い休暇で緊張感が切れ、ＧＷ明けの学校生活が少し心配です。お子様が有意義な時間を過ごせるよう、遊びばかりではなく家庭学習もお願いします。

お子様に意義のある休業期間とするため、一般的に、保護者は次のような働きかけを講じることが大切ではないでしょうか。

○自分にとって、休養、遊び、心身の鍛練、家事分担、勉強などのうち、最も優先するものは何か、また、それぞれのバランスをどのようにとるかを考え、子どもにとってよい連休の計画（日々の日課を含む）を立てるよう指導する。
○連休中の生活が、伸び伸びとした中で節度あるものとなるよう、子ども自身が立てた計画を活用して自主的に生活することを学ばせる。
○地域などが主催する催しへの参加を奨励し、豊かな経験を自ら求めるよう助言する。

お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

小学生のみなさんへ～ 不安や悩みがあったら話してみよう ～

今、みなさんはどんな気持ちでしょうか。楽しく明るい気持ちで新学期をむかえられている人もいれば、新しいクラスで友達ができるか、学年が上がって勉強についていけるかといったことに不安や悩みを抱えている人もいるかもしれません。 みなさんだけでなく、だれにでも不安や悩みはあるものです。不安や悩みがあるときには、ひとりでかかえこまないで、家族や先生、学校のスクールカウンセラー、友達、だれでもよいので、自分の心のうちを話してみませんか。話を聞いてもらうことで、心がすっと軽くなることもあります。どうしてもまわりの人に話しづらいときには、電話やメール、ネットで相談できる窓口があります。人に相談することは決してはずかしいことではなく、生きていくうえでとても大切なことです。ためらわずにまずは相談してみましょう。以下で紹介している相談窓口では、いつでもあなたの悩 みを聞いてくれる人がいます。 もし、あなたのまわりに元気がない友達がいたら、ぜひ 積極的に声をかけて、しんらいできる大人につないでください。

また、身近に相談できる場所としてどんなところがあるのか調べてみましょう。

相談窓口のしょうかい動画
https://youtu.be/CiZTk8vB26I
電話やメール、ネットなどの相談窓口
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

（令和５年２月　文部科学大臣 永岡 桂子　一部抜粋）